

# 蕨12

## 広報WARABI

2010/平成22年  
わらび・711

- 平成22年12月1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km<sup>2</sup>
- 11月1日現在人口：72,464人 前月比 +90人  
男 36,988人 女 35,476人  
世帯数：36,045  
人口密度：14,208人/km<sup>2</sup>



### さつき保育園の園児が描く絵 それは大好きなわらびりんご

錦町のさつき保育園では、埼玉県主催の「彩の国みどりの作文・絵画コンクール」に、年長くま組のみんなが応募。「みどり推進賞」を受賞することとなりました。園児14人が描いた絵は、園庭で毎年6月頃に実になるわらびりんご。みんな、このりんごが大好きです。

### ——— 目 次 ———

- わらびりんご物語……………2
- 市政にひとこと……………12
- 善意のおそばプレゼント…14
- レポートそこが知りたい…16
- 蕨いま むかし……………16
- 親と子のニュースの小窓…18
- 子どもクラブ……………19
- 輝いていま ひと ………20



昭和56年



わらびりんごの開発者、在りし日の故・吉澤正一さん

## 第1章 「誕生」

## 日本一早く実を付けるリンゴ「わらび」

**昭和** 和38年。錦町に代々続く農家の12代目だった、故・吉澤正一さん（大正元年生まれ）は、家族で食べた在来種のリンゴ「旭」の種を、遊び心で自宅裏にまきました。すると、200本ほどのちっちゃな芽が生えてきたのです。そんな何の気ない日常のひとつまがこの物語全ての始まりでした。

当時、リンゴは寒い所でしか育たないというのが常識で、埼玉県内で育てることは考えもつかなかった時代。「花くらい咲けば…」と、気に入った1本を選び、丹精こめて庭先で育て始めました。

リンゴを育てた経験のない吉澤さんでしたが、数年後の4月、リンゴ特有の白い花が咲き始めました。そして2年後、今度は梅雨も終わらぬ6月末に、いびつに変形した数個の赤い実がなりました。

食べてみると、「旭」とはかなり違う味。「植物にありがちな突然変異では」と直感し、青森や長野などリンゴの特産地を訪ね歩き、新品種だという確信を深めていきました。

更に吉澤さんは、「リンゴのない季節に病人や子どもに新鮮なリンゴを食べさせたい」と、多くの専門書などで研究を重ね、ついに昭和56年5月27日、登録番号第128号、日本一早く実を付けるリンゴ「わらび」がこの世に誕生したのです。



約2,000平方メートルの自宅菜園でリンゴの研究に没頭します

## 実を付ける時期・大きさ

6月 7月 8月 9月 10月 11月

わらび・つゆばれ  
約150～200gつがる  
約300g世界一  
約500gふじ  
約300g

## わらびりんごの特徴

「わらび」は、4月上旬、桜と入れ替わるようにして白いかれんな花を咲かせます。「リンゴは秋に収穫」というそれまでの常識を打ち破り、満開から60日ほどで成熟する極早生種で、日本一早い6月下旬にはその実を赤く染めます。直径7センチ前後、重さ150～200gほどの小ぶりで酸味の効いたその味は、ジュースやジャム、アップルパイなどにして味わうのがいちばんです。その後、甘さを加えて品種改良した「つゆばれ」とともに、わらびりんごと呼ばれ、たいへん注目を浴びました。

プロローグ



## わらびりんご

## 物語



prologue

6月 爽やかな日差し  
新緑の園庭

どっしりと根を下ろしたリンゴの木には今年も実がなっています  
待ちに待った収穫の日  
園児たちは小さなリンゴを収穫します

名前は「わらび」 市の名前と同じリンゴです  
酸味が強くそのまま食べるにはちょっぴり不向きなリンゴ  
でも、園児たちは大喜び そして地域の人たちも・・・

今月の特集は、わらびりんご物語  
リンゴに詰まった人々の思いやメッセージをお届けします



4月に咲く白い花

物語の始まりは昭和38年  
1人の人物から始まりました





吉澤さんの死後、妻・みよさんと長女・恵子さんが残されたリンゴの木を育てています(平成7年6月撮影)。同年8月、「りんご白書」も作成



たわわに実ったリンゴに興味津々の児童たち(昭和62年7月撮影)

## 新品種登録通知前日に無念の事故死

**そ**んな吉澤さんを突然の不幸が襲ったのは、「つゆばれ」の新品種登録を心待ちしていたときでした。平成3年11月24日、農業祭の準備で買い出しに行った帰り、交通事故に遭い、帰らぬ人となったのです。翌日、悲しみに暮れ泣きぐずれる家族の下に、農林水産省から1通の手紙が。「つゆばれ」の新品種登録を知らせるものでした。「蔵でおいしいリンゴを作りたい」。思いを残したまま天国に旅立った吉澤さんの棺には、登録証のコピーと「つゆばれ」が納められました。

その後、妻・みよさんは遺品の中から、新たな品種を研究中の書類を見つけます。「生きていればもっと新しい品種が出来たはず」と、娘・恵子さんとともにリンゴ畑を守ることを決意します。

しかし、区画整理などによる町並みの変容などで、無料配布した苗木はほとんど姿を消していききました。そんななか、遺族の皆さんは亡き父の思いが詰まったリンゴを守り抜いていこうと、畑や無人販売所などを引き継ぎ、平成7年には市場へ出荷するまでに育て上げ、これまでの活動を記した「りんご白書」も作成しました。そして、現在も故・吉澤さんの情熱は消えることなく、わらびりんご生誕の地で三男・藤十郎さんの手によって引き継がれているのです。

## リンゴ「わらび」で市の名前を広めたい

**約**20年がかりで誕生した「わらび」。翌年、吉澤さんは市の名前を広めようと付けたこのリンゴを、市民の皆さんにも親しんでもらおうと、たいせつに育てた苗木250本を、希望者に無料で配布しました。いつか、街中が真っ赤なリンゴで染まることを願いながら。

こうして一躍、「リンゴのおじさん」として有名になった吉澤さん。畑に児童が見学に来ると、笑顔で招き入れ、リンゴの説明をしてくれました。極早生種として脚光を浴びた「わらび」でしたが、酸味が強く賞味期間も短いものでした。「もっとおいしいリンゴを」。吉澤さんの探究心は尽きることがありません。畑作業の合間を縫って月に1度はリンゴ農家を訪ねる日々。無農薬にこだわった吉澤さんは、糖度を上げるために木の根元に砂糖や塩をまくなど、試行錯誤を繰り返しました。

時は流れ平成に入った頃、ついに新品種が完成。鮮やかな赤。それは若い娘がポツと頬を染めたよう。梅雨明けの頃に収穫できることから「つゆばれ」と命名されました。「わらび」の糖度は5でしたが、「つゆばれ」は17。リンゴの王様と呼ばれた「ふじ」にも負けない甘さが実現したのです。「よいのができた。味みてみる」と、妻・みよさんに勧める吉澤さん。その表情は満足気でした。

### 毎年の収穫天国の夫に

夫・正一(享年79歳)との別れはあまりに突然でした。夜明けとともに起きて、無人販売所で野菜やリンゴを売りに出し、日暮れまで畑作業をしていた、夫の背中を今でも覚えています。女手だけでリンゴの木を守るには苦労もありましたが、「きっと天国でもリンゴを作っているはず…」と、赤く色付いたリンゴを手にとり収穫を報告したものです。



よしざわ 吉澤 みよさん  
錦町2丁目・93歳

### いただいた苗木は…

庭に植えてから5年後だったでしょうか。白いきれいな花がぼつぼつと咲いたのです。その後、小さな実が3つ付いているのを発見。我が家でもほんとうに実になるなんて、興奮したのを覚えています。でも、その年の冬、トラックが運転を誤り庭へ。わらびりんごは無残にも倒されてしまいました。事故がなければ成長し、たわわに実を付けていたと思うと残念です。



そめや 染谷 淑子さん  
塚越2丁目・81歳

### 苗木の希望者殺到で抽選会



▲用意された苗木250本に対して602人の希望者(昭和57年10月14日)



▲常識を打ち破った極早生リンゴ誕生は新聞各紙で取り上げられ、話題に…



無人販売所にはリンゴをはじめ野菜やお花も所狭しと並びました



平成21年～22年



さつき保育園で苗木植樹「もっとリンゴ増えたら楽しいな」

▶早く大きくなれ

その第一歩を踏み出したのです。そして、15人で始まったプロジェクトは、活動を広げるなかで、趣旨に賛同した皆さんによって「わらびりんごの会」（平野明佑会長）へと発展していきました。

## 県花と緑の振興センター関根家松所長による接ぎ木講習会



「わらび」開発から故・吉澤さんと親交が深かった関根さん。講義にも熱が入ります

## 接ぎ木でリンゴを後世へ

の通りなど、僅かながら残っていた市内各所のリンゴを観察したりと研究を重ねる日々。わらびりんごを増やすためには、成木から枝を取り、台木と結合させる接ぎ木という方法で行います。年が明けた1月、苗木を増やそうと、寒風が吹きすさぶなか、その接ぎ木の練習も行いました。

## 接ぎ木交流でお礼の手紙

西小学校では3月に、6年生の卒業記念として、わらびりんごを接ぎ木して、植樹を行いました。接ぎ木作業は思っていた以上に難しかったと児童たち。でも、リンゴプロジェクトの皆さんが、丁寧に教えてくれたおかげで無事完了。植樹された苗木は、在校生へと引き継がれました。順調に育てば赤い実を付けるのは、卒業生が成人を迎える頃。心に夢を広げています。



接ぎ木を学んで苗木を植樹する6年生



## 第4章 「新しい風」

## 自分たちで何ができるか議論を交わすリンゴプロジェクトの皆さん

市制施行50周年。節目の年に自分たちは何ができるか  
地域で出した答えは「りんごのまちづくり」

## わらびりんごのまちの宝に

平成21年。吉澤さんが亡くなってから18年がたちました。いったいどれほどの人がわらびりんごのことを知っていたでしょうか。

蔵のまちが市制施行50周年でにぎわいをみせるなか、そのプロジェクトは産声を上げました。この年、記念事業の一環で、市内5地区ではコミュニティ委員会をはじめとする、地域の皆さんが特色を生かした地域づくりに取り組んだのです。錦町地区（奥田昌利実行委員長）が出した結論は、かつて同地区で見られた原風景を後世に伝えていきたい。水田の復活と、わらびりんごでした。

7月。わらびりんごをまちの宝として広めていこうと、リンゴプロジェクト（大川隆一代表）を15人で結成。皆さんがまず行ったのは、わらびりんごの勉強会でした。「埼玉県花と緑の振興センター」を訪ねて育て方を学んだり、さつき保育園や北町



リンゴを増やそう。そのためにまずは自ら接ぎ木の技術学ぶ





マスコットキャラクターと唄も誕生

## わらびりんごの唄

## 青空編

風の音を聞きながら 耳をすませて歩けば  
見なれた街のかたすみ 甘い香りがこぼれた  
ほら藤の町に リンゴが咲いた  
青い空に浮かんだ ヒコキ雲が踊った  
胸の鼓動をおさえて そっとほほすりした時  
幼い頃の自分が さわぎ出します  
時には思いがけずに 悲しい事もあるでしょう  
こんな小さな町にも 人の涙のあれこれ  
ほら藤の町に リンゴが咲いた  
青い空に浮かんだ 入道雲が笑った  
丸い小さなリンゴも 長い冬を耐えながら  
春には白い可憐な 花を見せます  
花を見せます

## 夕焼け編

宿場の街角 ひっそり咲いてた  
ずっと昔に見た あの娘の姿  
もつ 初恋の日は 遠い昔だけと  
真つ赤な頬した やさしい娘だよ  
わらびりんご 遠い記憶を  
くすぐるよに 僕の胸に咲いている  
機織る町から 小さな便り  
時代を飛んでゆく すてきな話  
ああ 夕日に染まる あかね色の町は  
昔も 明日も 変わらないの  
わらびりんご 小さなあわせを  
風に乗せて 過去へ未来へ届けよう  
宿場の街角 ひっそり咲いてた  
時代を飛んでゆく すてきな話



## ブランド化を目指したい

私たち農家もまちおこしの一環として、わらびりんごを生産していこうと思っています。今月、リンゴ栽培の講習会を開き、来年2月頃から苗木を作っていく予定です。こうした地元の特産品を生産することで、厳しさの続く都市部の農業にとって、後継者づくりなどにもつながる取り組みになると期待しています。本格的な生産には10年近くかかるとは思います。年間1万個以上を生産し、地元の食品加工業者に卸していくのが今の目標です。



おくだ みつよし  
奥田 光由さん  
農業委員会・会長 60歳

## 「点から面へ」広がる思い

会の皆さんが、苗木を育てている間、わらびりんごを広めようという活動はさまざまな形で動き始めていました。「リンゴレンジャー」や「わらびりんご姫」などのマスコットキャラクターのほか、「わらびりんごの唄」や踊り、宣伝用のパンフレットやTシャツなど、地域の皆さんが「できること」から取り組んだ結果が実を結び始めていったのです。また、農家の皆さんも趣旨に賛同し、わらびりんごを生産していこうという動きも始まりました。

きっかけは錦町地区の50周年記念事業。でも今では、市全体に及ぶほどの大きな広がりをみせようとしているのです。

「がんばってね」と、逆に苗木に励まされているよう。それまでの苦労が報われた瞬間でした。

「いけるぞ」。自信を深めた皆さんは、むせ返るような暑さのなかでの草刈りや水やりなど、土と汗にまみれて苗木を育て続けました。その表情はとても晴れやか。「みんなで汗かいて、地元のリンゴを育てるなんて、幸せなことだよ」と、輝くような瞳でほほえんでくれました。

秋を迎え、100本を超える苗木が2月ほどに生長。苗木の「嫁入り」準備がいよいよ始まりました。



## 第4章 「新しい風」

## 畑作って苗木を育てよう

会の皆さんには、もう1つ大きな目標がありました。自分たちの手で苗木を育てる農園、「わらびりんごファーム」の立ち上げです。皆さん、園芸程度の経験はあるものの、樹木の栽培は初めて。市制施行50周年記念事業で始めたという重圧もあるなか、「自分たちの手で育てたりんごで、まちの人と人がつながっていくたら」という、1人1人の思いが活動の原点でした。

こうして昨年の12月から始まった畑作り。しかしその道のりは、想像以上に手間のかかるものでした。小高く盛り上がった吹きさらしの土地に、石の混じった硬い土。鍬を入れる度に手がしびれるほどです。全てが手作業の「わらびりんごファーム」の開墾は、落ち葉などを肥料にして、土を改良することから始まりました。そんな春のある日、農園に行くと、枝から小さな芽が出ていたのです。

## 「嫁入り」の準備をしています

「こんな荒れ地で育つのか」。初めて鍬を入れたときのことをよく覚えています。冬の接ぎ木講習や、夏の草むしりや水やりなど、手塩にかけて育て上げた苗木をお配りするのには、正に嫁入りさせるような心境です。現在、公共施設や沿道などに植樹をする準備をしています。数年後、わらびりんごで街中が赤く染まる日が楽しみです。まちで娘たちを見かけたら、かわいがってください。



ひらの あきすけ  
平野 明佑さん  
わらびりんごの会・会長 75歳





# 心動く理由 「まちが好き」

「リンゴでみんなを笑顔にしたい」と、リンゴの研究や開発に情熱を注いだ、故・吉澤正一さん。苗木を市民の皆さんに無料でお配りしたことや、「わらび」と付けたリンゴの名前から、まちを愛する気持ちが伝わってきます。吉澤さんの死後、約20年のときが流れ、その間、区画整理など加速する宅地化のなかで、町並みは大きく変容を遂げてきました。

そんななか、市制施行50周年を機に、再びリンゴを広めようと精を出す皆さんもまた、まちと、そこに住む人をたいせつに思う気持ちが活動の根底にありました。

どんなに町並みが変わっても、引き継がれていくものの、引き継いでいてほしいもの。「自分たちの住むまちが好きだから」。今回の取材を通して何度となく耳にしたその言葉に、未来へ向かう、蔵のまちづくりの糸口が見えたような気がしました。「わらびりんご物語」はここでいったん幕を閉じます。でも物語に終わりはありません。

続きは皆さんの手で…





たけうち かずや  
竹内 一矢さん  
中央東小学校6年

## 緑がいっぱい増えれば うれしいな

学校の授業で蔵をもっとよいまちにするためにはどうしたらよいかを考える学習をしました。そこで、僕が考えたのは、緑を増やすことです。緑を増やせば、自然と触れ合うことができます。緑を増やせばエコにもなるし、ビルだけでは味わえない楽しさも感じることができます。みんなが自然を気遣えば、ばい捨ても減って、緑いっぱい、市民公園のような施設が増えると思います。蔵に、もっと緑を増やす計画を立ててください。

## ご意見に お答えします

みんなで緑を。  
地域ぐるみで  
花いっばいに



▲「お花の生長が楽しみです」と、南町2丁目町会の皆さん（まつのき公園）  
▼リサイクルフラワーセンターには、花苗を育てる人たちの笑顔がいっぱい



ますだ ちなつ  
増田 千夏さん  
南町1丁目・20歳

## 平和塔に落書き 心ない人の行為に残念

通学で蔵駅を利用しているので平和都市宣言塔が設置されたことは知っていました。この宣言塔は、市民からの寄附で設置することができたそうですね。多くの人の平和への願いが詰まっている宣言塔なのに、その腰掛部分に落書きがされたのはとても残念で悲しいことだと思います。

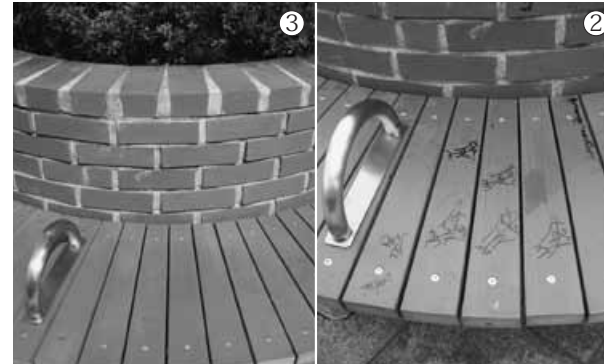
一部の人の心ない行為は、みんなに迷惑をかけますのでやめてほしいと思います。でも、落書きがすぐに消されて元通りになってよかったです。

## ご意見に お答えします

落書きは消去。  
広報通しマナー  
呼びかけ



▲9月17日、多くの人に祝福されての初披露となりました  
▼迷惑な落書きは直ちに消去。住みよいまちづくりに協力を



今年9月、平和都市宣言の制定から25周年の節目を迎えて設置した平和都市宣言塔（左写真①）。設置に当たっては、200人以上のかたから総額76万円の寄附をいただきました。その宣言塔の腰掛部分に落書きがされていると、9月

29日に市民のかたから一報が入りました（左写真②）。連絡を受けた担当職員が事実を確認するために現場へ直行。落書きを確認すると、同日中に除光液などを使い速やかに消し取りました（左写真③）。市では、住みよいまちづくりを進めていくため、誰もが美しいと思えるような景観を維持していくと考えています。そのため、落書きやたばこのぼい捨てなどまちの美観を損ね、他人に不快感を与えることが起きないように、広報などを通じてマナーの向上についても呼びかけていきます。

市では、市民意識調査をはじめ、メールや投書、市長の面会日など、さまざまな形で市民の皆さんからのご意見をお伺いしています。市政に対する厳しいご意見やうれしいご意見、実現が難しいご意見、すぐ対応できるご意見など、内容は多岐に渡っています。市では、こうした声をきちんと受け止め、市政を進めていきたいと考えています。ここ12ページから13ページまでの特集は「市政にひとこと」。市民の皆さんからいただいた声にお答えします。





▲手際よくそばを仕込む皆さん。  
そば屋オールスター共演です



▲「へいっ、お待ち」



▲そばには欠かせない薬味



▲配食のお手伝いは蕨市  
社協錦町支部の皆さん



▲そばはコシも命。  
絶妙なゆで加減

▲「善意のおそば」は蕨サ  
ンクチュアリにも届けます



▲



▲出来たてあつあつのおそばに笑顔もほくほく

出来たてのおそばに舌鼓。相席となった人とも、自然と会話がはずみます。この日、ふるまわれたてんぷらそばは、全部で480食。北町5丁目の

特別養護老人ホーム蕨サンクチュアリの入居者にも届けられました。そば屋さんの思いがこもったおそばに、心も体も温まる1日でした。



## 味と心届けて35年 善意のおそばプレゼント 作るのは12店のそば屋さん

▲お好みで薬味を乗せて

食 欲をそそるだしの香り。たつぷり入ったおそばに、大きなエビのてんぷら。お好みで薬味を乗せたら。一口食べれば誰もが笑顔になつてしまふ、蕨市社会福祉協議会「善意のおそばプレゼント」の一幕です。11月11日、松原会館の集会室が、1日限りのそば屋さんに様変わり。市内そば組合加盟の皆さん

が、60歳以上の市民を対象にあつあつのてんぷらそばをふるまいました。おそばを食べてますます健康になつていただこうと、そば屋さんの御厚意で昭和50年から始まったこのボランティアも今年で35回目を迎え、すっかり定着。整理券の配布の頃には長蛇の列ができました。お年寄りの皆さんは、

▲会場は松原会館です。無料整理券配布を今やまだかと長蛇の列



▲毎年、楽しみにしている皆さんも多くいて集会室はすぐ満席に



|         |             |          |               |      |          |                          |                |             |                   |                    |               |                           |             |                                        |          |                          |                |             |                   |                    |               |                           |             |                                        |          |                          |                |             |                   |                    |               |                           |             |                                        |
|---------|-------------|----------|---------------|------|----------|--------------------------|----------------|-------------|-------------------|--------------------|---------------|---------------------------|-------------|----------------------------------------|----------|--------------------------|----------------|-------------|-------------------|--------------------|---------------|---------------------------|-------------|----------------------------------------|----------|--------------------------|----------------|-------------|-------------------|--------------------|---------------|---------------------------|-------------|----------------------------------------|
| 5日      | 12月         | 16日      | 9日            | 7日   | 3日       | 11月                      | 30日            | 23日         | 22日               | 21日                | 14日           | 10日                       | 30日         | 10月                                    | 20日      | 17日                      | 16日            | 10日         | 5日                | 9月                 | 31日           | 22日                       | 8日          | 5日                                     | 3日       | 1日                       | 8月             | 23日         | 21日               | 20日                |               |                           |             |                                        |
| さわか環境の日 | クリーンわらび市民運動 | 金婚祝式 51組 | 戸籍の電算化環境フォーラム | (予定) | 自治助労者表彰式 | けやき文化賞 高松とし枝さん宿場まつり 14万人 | わらび健康まつり 菌つびわら | 戦没者追悼式 271人 | 中学生の主張 in わらび 52人 | 国防・クリーンキャンペーン 100人 | 園芸祭(23日) 600人 | ハロウィンワールド in Warabi 1400人 | 中央浄水場改修工事竣工 | 歴史民俗資料館「オキタムギヤラリ」(蕨市街景色) 当摩源一郎展(12月5日) | 自治助労者表彰式 | けやき文化賞 高松とし枝さん宿場まつり 14万人 | わらび健康まつり 菌つびわら | 戦没者追悼式 271人 | 中学生の主張 in わらび 52人 | 国防・クリーンキャンペーン 100人 | 園芸祭(23日) 600人 | ハロウィンワールド in Warabi 1400人 | 中央浄水場改修工事竣工 | 歴史民俗資料館「オキタムギヤラリ」(蕨市街景色) 当摩源一郎展(12月5日) | 自治助労者表彰式 | けやき文化賞 高松とし枝さん宿場まつり 14万人 | わらび健康まつり 菌つびわら | 戦没者追悼式 271人 | 中学生の主張 in わらび 52人 | 国防・クリーンキャンペーン 100人 | 園芸祭(23日) 600人 | ハロウィンワールド in Warabi 1400人 | 中央浄水場改修工事竣工 | 歴史民俗資料館「オキタムギヤラリ」(蕨市街景色) 当摩源一郎展(12月5日) |

|                   |              |          |                                 |                       |                           |                       |                                                        |                            |                              |                      |                      |                                |                     |             |                         |                |                                 |          |                                                              |        |             |                   |                    |               |                           |             |                                        |
|-------------------|--------------|----------|---------------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------|----------------------------|------------------------------|----------------------|----------------------|--------------------------------|---------------------|-------------|-------------------------|----------------|---------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------|--------|-------------|-------------------|--------------------|---------------|---------------------------|-------------|----------------------------------------|
| 16日               | 15日          | 7月       | 6日                              | 31日                   | 26日                       | 17日                   | 16日                                                    | 7日                         | 1日                           | 5月                   | 29日                  | 17日                            | 16日                 | 10日         | 1日                      | 4月             | 28日                             | 19日      | 17日                                                          | 8日     | 3月          | 27日               | 20日                | 13日           | 7日                        | 2月          | 11月                                    |
| 16日               | 15日          | 7月       | 6日                              | 31日                   | 26日                       | 17日                   | 16日                                                    | 7日                         | 1日                           | 5月                   | 29日                  | 17日                            | 16日                 | 10日         | 1日                      | 4月             | 28日                             | 19日      | 17日                                                          | 8日     | 3月          | 27日               | 20日                | 13日           | 7日                        | 2月          | 11月                                    |
| 放送大学平成23年度第1学期生募集 | 出願期間＝2月28日まで | 1科目から受講可 | 資料請求・詳細＝埼玉学習センター(☎048・650・2611) | 平和都市宣言25周年記念事業(8月20日) | 南町地区留守家庭児童指導室(B館)開設(8月4日) | 国際青少年キャンプinリンデン(8月4日) | 児童扶養手当 父子家庭へ拡大 歴史民俗資料館平和祈念展「記念切符でたたる戦後復興」(9月26日) 4886人 | わらび地力発揮プラン策定 機まつり(8日) 30万人 | エンジェルわらぶミニミニ鑑いぐるみ販売開始 900個完売 | 蕨市総合防災演習(東小学校) 1313人 | 蕨市西口地区7番街区市街地再開発事業竣工 | 合宿通学(10月9日) 同事業はさいたま教育ふれあい賞を受賞 | 生涯学習フェスティバル(11月21日) | 蕨市平和都市宣言塔設置 | 蕨市東口エレベーター設置工事開始(3月14日) | お年寄りを救う会 1430人 | エンジェルわらぶTシャツ(わらぶTシャツ)販売開始 1400枚 | 旧旭町公民館閉館 | こども医療費助成制度の対象年 輪坂大通院を中学校卒業まで 蕨市西口公民館施設設ける開設(1階旭町公民館、3階文化ホール) | 国勢調査実施 | 戦没者追悼式 271人 | 中学生の主張 in わらび 52人 | 国防・クリーンキャンペーン 100人 | 園芸祭(23日) 600人 | ハロウィンワールド in Warabi 1400人 | 中央浄水場改修工事竣工 | 歴史民俗資料館「オキタムギヤラリ」(蕨市街景色) 当摩源一郎展(12月5日) |



## 情報ダイヤル

掲載は無料です  
図秘書広報課 (☎433・7703)

- 〔譲ってください〕
- ▶足踏みミシン 5,000円まで 取りに伺います<上田・☎090・5525・5466>〔見に来ませんか〕
- ▶池田敏之・蔵市百景展(油絵) 11日～16日 午前9時～午後5時 市民会館<池田・☎443・8858>〔仲間になりませんか〕
- ▶蔵中東カンフークラブ(中国武術) 土曜日 午前10時 中央東小学校 月3,000円 4歳以上<吉田・☎090・9812・6620>
- ▶オカリナエーデルワイス 第1・3火曜日 午後2時 松原会館 1回1,000円 60歳以上の市内在住の女性<吉川・☎444・7936>
- ▶蔵インドアテニスクラブ(硬式テニス) 水曜日 午前9時 市民体育館 月3,000円 経験者希望 コーチあり<菊地・☎443・6611>
- ▶英書を読む会(時事英語) 金曜日 午後1時半 中央公民館 月500円<石川・☎432・3772>
- ▶塚越ダンス(社交ダンス) 月曜日 午後1時半 東公民館 月2,000円<土橋・☎441・5049>
- ▶エンジョイフラサークル(フラダンス) 月3回金曜日 午後1時 自治会館・児童センターなど 月6,000円(託児あり) 月4,000円(託児なし)<小野・☎090・3120・5385>
- ▶表千家かれん会(茶道) 中央公民館など 希望者は要相談<林・☎090・4139・1212>
- ▶南囲碁クラブ 火曜日 午前10時 南公民館 無料<井上・☎442・0259>
- ▶楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蔵駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>〔ご相談ください〕
- ▶蔵断酒会(酒害相談) 7日=中央公民館 15日=南公民館 23日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>
- ▶アルコール依存症の自助活動 月曜日 午後7時 中央公民館<A A 浦和・☎03・5957・3506>



## 初の3人用自転車教室



## 歴史感じる宿場まつり



## 健康を応援するお祭り



## 戸籍の電算化スタート



## 触れ合い楽しむ文化祭



3代目は「大仏師」という仏師の中心である称号を持ち、多くの弟子を育てていました。そのため、店には寝泊まりできる場所が設けられていました。今の写真は、現在の様子です。周囲にマンションが建ったりと変化は見られますが、蔵宿の歴史ある面影を残しています。

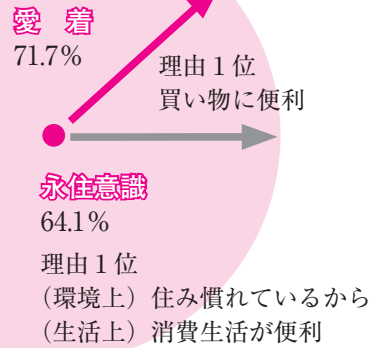
市政に役立てます



## レポート そこが知りたい

〔71〕

### まちへの愛着と永住意識



今回の市民意識調査の内容は、全29項目あり、子育てについてなど各種まちへの愛着約72%に永住意識は約64%に

ちづくりに関することのほか、新たに生涯学習活動や市職員の応対などについてもお聞きしました。まず「まちへの愛着」と「定住意識」についての結果です。右の円グラフにあるように、「まちへの愛着」は、愛着を感じているが、昨年度の67.8%に比べ3.9ポイント増の71.7%となりました。「永住意識」は、住みたいと思うが、昨年度の59.2%に比

次に、市民の皆さんが重要であると思う施策とその満足度についてです。重点施策については、34の施策についてそれぞれの重要度をお聞きしました。その結果、関心の高かった上位3つの施策は、1位が市立病院の充実、2位が防犯対策、3位が防災・消防・救急体制となり、昨年度と同様、市民の皆さんは、安全・安心の分野に関心を寄せていることが分かりました。また、34項目の施策に

| 重要と思う施策  |                    |
|----------|--------------------|
| 1        | 市立病院の充実            |
| 2        | 防犯対策               |
| 3        | 防災・消防・救急体制         |
| 4        | 介護サービスの充実          |
| 5        | 学校教育の充実            |
| 6        | 下水道の整備・雨水対策        |
| 7        | ごみの減量とリサイクル        |
| 8        | 交通安全対策             |
| 9        | 障害者支援              |
| 10       | 青少年の健全育成           |
| 満足度の高い施策 |                    |
| 1        | 下水道の整備・雨水対策        |
| 2        | コミュニティバスなどの公共交通の充実 |
| 3        | 防災・消防・救急体制         |
| 4        | 公園緑地の整備・緑化推進       |
| 5        | ごみの減量とリサイクル        |
| 6        | 生涯学習の充実            |
| 7        | 市営住宅の整備            |
| 8        | 道路・歩道の整備           |
| 9        | 高齢者の社会参加や生きがいづくり   |
| 10       | 交通安全対策             |

市民ニーズを把握しまちづくりに生かす

少子高齢化など社会の変化のなかで、市民ニーズも多種多様化しています。変化のなかで、市民ニーズも多種多様化しています。変化のなかで、市民ニーズも多種多様化しています。

市民の皆さんから市政に対するご意見をお聞きし、今後のまちづくりに役立てていこうと、毎年市民意識調査を実施しています。今月は、今年度の調査結果がまとまりましたので「まちへの愛着」のほか主な調査項目の結果についてご紹介します。

市民の皆さんから市政に対するご意見をお聞きし、今後のまちづくりに役立てていこうと、毎年市民意識調査を実施しています。今月は、今年度の調査結果がまとまりましたので「まちへの愛着」のほか主な調査項目の結果についてご紹介します。

市民の皆さんから市政に対するご意見をお聞きし、今後のまちづくりに役立てていこうと、毎年市民意識調査を実施しています。今月は、今年度の調査結果がまとまりましたので「まちへの愛着」のほか主な調査項目の結果についてご紹介します。

市民の皆さんから市政に対するご意見をお聞きし、今後のまちづくりに役立てていこうと、毎年市民意識調査を実施しています。今月は、今年度の調査結果がまとまりましたので「まちへの愛着」のほか主な調査項目の結果についてご紹介します。

市民の皆さんから市政に対するご意見をお聞きし、今後のまちづくりに役立てていこうと、毎年市民意識調査を実施しています。今月は、今年度の調査結果がまとまりましたので「まちへの愛着」のほか主な調査項目の結果についてご紹介します。



10月開館の「くるる」。駅に近く利便性の高い施設です

語る人



金子栄一さん  
北町3丁目・72歳

中山道の  
西山神仏具店

蔵  
いま  
むかし  
- 301 -





## 市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。  
今月は2日、1月は6日です。  
時間は午後1時～5時を予定  
しています。  
ご希望のかたは秘書広報課  
(☎433・7701)へ

この度、平成22年度の  
市民意識調査の結果がま  
とまりましたが、「まち  
への愛着」が、昨年より  
3・9ポイント増えて71・  
7%となり、「これから  
も蔵に住みたいと思う」  
との回答も、前年度比で  
4・9ポイント増の64・1  
%となり、いずれも、近  
年では高い割合となりま  
した。また、「住みたい  
と思わない」との回答は  
6・8%で前年度より半  
減しました。市長として、

## ほっと・エッセイ

まちへの愛着の高さが  
市政発展の原動力

市長 頼高 英雄

多くの市民の皆さんが、  
蔵への愛着を深めてくれ  
ていることをたいへんう  
れしく思います。  
蔵市は昨年、市制施行  
50周年を迎え、市民の皆  
さんとともに、記念事業  
を盛大且つ有意義に開催  
することができましたが、  
私が50周年を通じていち  
ばん感激したことは、多く  
の市民の皆さんが、この50  
周年記念事業に参加し、  
蔵への思い、愛着を感じて  
くれたことでした。今回  
の調査結果は、そんな皆  
さんの思いも反映してい  
るのではないでしょう。か  
ら、まちへの愛着の高さこ  
そ、市政発展の原動力で  
す。これからも、誰もが  
愛着が持てる、住み続け  
たいと思える、そんな蔵  
のまちづくりに全力を尽  
きてまいります。



## 子どもクラブ

くるみ保育園

くるみ保育園の入り口付近には、  
いつもかわいらしい絵や創作物が  
飾られ、訪れる人を出迎えてくれ  
ます。11月15日は新しい作品、「3  
匹の子豚」の、「わらの家」、「木  
の家」、「れんがの家」への模様替え。  
3・4歳児50人によるこの力作は、  
散歩の時間に拾ってきた、落ち葉  
や枝、どんぐりなどを材料に製作  
されました。仕上げるに、自分の名  
前が入った折り紙のブタを貼っ  
て、うれしそうに作品を見上げる  
園児たち。次に製作するのは、ク  
リスマスの飾りつけです。どんな  
作品ができるのか楽しみです。

「名前を呼ぶと、『はーい』と手を挙げて返事を  
するようになった優奈。  
ここ数か月でできること  
が急に増えたんですよ。  
縫いぐるみを抱き締めた  
り、髪をくしでとかれた  
り、女の子らしさも出て  
きました。そんな優奈の

ゆうな  
**優奈ちゃん**  
(1歳8か月)

くりばやし  
**大介さん**  
いずみさんの  
長女  
錦町5丁目

わが家のアイドル

—465—

お気に入りの場所は友達  
と過ごせる錦町児童館。  
音楽に合わせてびよんび  
よん跳ねたり、走り回っ  
たり、いつも楽しそう。  
人と人とのつながりを大  
事に、名前のとおり優し  
い子に育ってほしいです  
ね」と、母親のいずみさん。

「黄色の落ち葉はコー  
ンフレックみたい」、「ふ  
かふかの落ち葉のじゅう  
たんが出来るね」と児童  
たちの楽しそうな声が聞  
こえてきたのは、先月西

西小児童が清掃活動

優しさの「環境行動」

小学校で行われた「地域  
クリーン作戦」のひとつ  
です。軍手とほうきを使  
い、親子で近隣の公園  
のごみを拾ったり、学級  
ごとに交代で校庭の落ち  
葉を掃いたりと大活躍。  
きれいなまちづくりに貢  
献すると同時に自然と触  
れ合い、楽しみながら環  
境に対する意識を高める  
ことができました。

5日には、市内を清掃  
する「クリーンわらび市  
民運動」が全町会で行わ  
れます(お知らせ版8頁  
参照)。皆さんもまちの美  
化活動に参加しませんか。

# あなたの力になります ご利用ください 消費生活相談

悪質商法などが後を絶ちません。  
いつ自分の身に降りかかるかもしれ  
ませんので、だまされないため  
の知識を持つことは大事なことです。  
もしトラブルに巻き込まれたら、  
悩まずに消費生活相談をご利用く  
ださい。秘密は厳守。無料です。

## 親と子の ニュースの 小窓



後を絶たない悪質商法。ネットも注意

**増加の傾向にあるネット関係の被害**

ワラビ 稲田さん、この  
前※テレビ放送見ました。  
稲田 布団の無料点検の  
はずが高額請求されるお  
話ね。ワラビちゃんのお  
家も気をつけてください。  
お母さん 人をだまして  
不当に利益を得ようとす  
るなんて頭にきちゃうわ。  
稲田 電話勧誘や訪問販  
売、催眠商法などいろい  
ろな手段で狙ってきます。  
最近では、デジタルコン  
テンツに関するトラブル  
が増加傾向です。  
ワラビ それってインタ  
ーネットの関係かな？  
稲田 正解。  
お母さん パソコンや携  
帯電話などいろいろな  
サイトを閲覧できますね。  
稲田 そう。通信の普及  
などが増加傾向の背景。  
例えば、興味本位でアダ  
ルトサイトの画像や動画  
をクリックしたら、急に  
請求書の画面になって、  
パソコンを立ち上げる度  
に請求画面が出るのよ。  
ワラビ それ嫌だ。直ら  
ないの。  
稲田 解除法のアドバイ  
スはできると思うわ。他  
にも古いサイトに登録し  
たら出会い系サイトにも  
登録されてメールの嵐。  
お母さん 当然、誘惑さ  
れるような内容ね。  
稲田 「会ってくれば  
お金をあげる」や「芸能人  
の相談相手になって」な  
ど、うその内容に踊らさ  
れて、高額のお金を支払  
うはめになってしまつ。  
ワラビ 「うまい話はない」のにね。  
稲田 サイトでの登録は  
利用規約などをよく見た  
り、サイトの評判を調べ  
たりすることも大事です。



じめ、悪質商法など商品  
の購入に関するトラブル  
など、消費生活に関する  
ことは、なんでもです。  
ワラビ 相談は多いの？  
稲田 昨年度は176件  
の相談をお受けしまし  
たが、今年度は200件を  
超える勢いですね。  
お母さん トラブルも多  
いってことね。世代的に  
はどうなのかしら。  
稲田 高齢者のかたの相  
談が多いですが、先ほど  
のデジタルコンテンツ関  
係は若いかに多いです。  
ワラビ 「変だな」と思  
ったらすぐ相談だね。  
稲田 消費生活相談は、  
市役所2階商工生活室  
(☎432・4286)で、火曜  
日から金曜日(水・木曜日は  
予約制)の午前9時半  
から11時半までと午後1  
時から4時までで行って  
います。ご利用ください。

※ケーブルテレビで放送した「高齢者の消費者被害」布団の無料点検だったはずなのに  
のDVDが借りられます。貸し出しは秘書広報課(☎433・7703)



# ひと輝いています

世界大学ゴルフ選手権入賞

志賀友香さん

## 目

標はプロで賞金女王になること」と話すのは、志賀友香さん（20歳・塚越5丁目）です。

現在、日本大学ゴルフ部に所属し、世界大学ゴルフ選手権日本代表や国体県選抜になるほどの実力者です。9歳のときにお父さんに勧められて始めたゴルフ。ボールを飛ばす爽快感が楽しくて本格的に取り組むようになりました。ゴルフ部のある中学校に進学し、関東ジュニア選手権優勝など好成績を残していききました。順調な競技生活が一転

したのは高校2年生の夏。腰痛の影響でフォームをくずし、自分のスイングができなくなりました。

腰痛が癒えても感覚が戻らず、目標の高校卒業後のプロ転向は断念。結果の出ないつらい時期が続きます。しかし、常に支えてくれる家族に「自分には味方がいる」と勇気づけられ大学に進学。ひたすら基礎練習に励みます。

不調から抜け出す転機は、昨年の日米大学対抗ゴルフ選手権。注目度の高い試合に、自称目立ちたがり屋という志賀さんは「目立てるチャンス」と開き直るとナイスショットの連発。この試合以降、本来の思い切りのよさが戻り、安定したスコアが残せるようになりました。

壁を乗り越えて、よりたくましくなった志賀さんは「家族のためにも結果を出したい」と話します。大舞台ほど燃える勝負師がいつそうの努力を重ねれば、18番ホールでウィニングパットを決める日も遠くないのかもしれないと。志賀さんの飽くなき挑戦は続きます。

たゆまぬ努力で頂点を目指す



## わらびの野鳥・虫・草

306



## アカタテハ

秋が去りゆく気配を感じ始めた11月中旬、錦町6丁目のちびっこ広場で出会ったのはアカタテハ。開張6月の羽は、オレンジ、黒、白の色彩が鮮やかです。一方、その裏側は茶褐色で複雑な網目模

様をしていて、表とは違った美しさを感じます。また、俊敏で勇ましい飛び方から、インディアン・レッド・アドミラル（インドの赤い提督）という英名が付けられています。成虫のまま越冬するこのチョウ。これから始まる冬に備え、落ち葉の上で羽を休ませていました。

## ぷらっと・わらび・小さな旅

### 河鍋晩斎 記念美術館

ぷらっとわらび南ルート11番目の停留所「南町2丁目」で下車して、南へ徒歩4分。今回ご紹介するのは、真つ白な建物が印象的な河鍋晩斎記念美術館です。幕末から明治にかけて活躍した狩野派絵師・河鍋晩斎とその一門の作品、約3200点を所蔵する同館は、昭和52年、晩斎の

曾孫で、館長の河鍋楠美さんが創設しました。2か月ごとに展示作品が替わるため、狩野派だけにとどまらず、戯画や幽霊画など、さまざまな作風の作品を描いた晩斎の魅力をたっぷりと楽しむことができます。



「晩斎の世界をお楽しみください」と、河鍋楠美さん

「いました」と、入場者にも好評です。皆さんも、ぜひ同館に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。